



## 歩行者空間拡大のための社会実験

### なんば駅周辺で人流計測技術「ひとなび®」による調査実施

2021年11月23日(火)～12月2日(木)@なんば駅周辺

#### ❖ 概要

大阪大学大学院情報科学研究科の山口弘純教授が、11月23日(火)～12月2日(木)で実施される「なんば駅周辺における空間再編推進事業 道路空間再編(歩行者空間拡大)の社会実験」において、大阪大学発ベンチャー企業のHULIXと、ひとなび®(LiDARセンサーを活用した人流計測システム)を活用して人流計測調査を実施します。

本調査では、交通荷捌きの運用や安全性の検証の社会実験によって広がった道路空間を歩行者空間として、日常の憩いの空間のあり方の検証を目的としています。

このたび、町会・商店街・企業27団体で構成される「なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会(2011年設立)」が大阪市とともに「交通荷捌きの運用や安全性の検証」と「歩行者空間の利活用に関する検証」を実施します。山口教授は協議会から委任を受けた「なんば広場マネジメント法人設立準備委員会」と連携し、自身が研究開発した「ひとなび®」を使って人流計測調査を行います。株式会社HULIXは、山口教授の研究成果をもとに2020年7月に設立された大阪大学発のベンチャー企業です。ひとなび®※は、複数の場所に設置したLiDARセンサーからのデータを基に、広範囲・高度な空間理解で人の流れを把握し、個人情報を取得せずに対象空間の人の動きや混雑状況の分析をすることが可能です。

※「ひとなび」は大阪大学の登録商標です。

#### ❖ 社会実験概要

【日 時】 2021年11月23日(火)～12月2日(木)

8時～20時(初日のみ11時～20時)

【場 所】 なんば駅周辺

【内 容】 現在は自動車を通る道路空間を歩行者のみの空間とし、その空間における歩行者通行動線や滞在空間の動向を実験、検証する。



#### ❖ 社会実験のうち「ひとなび®」を用いた人流計測期間

【日 時】 2021年11月27日(土)／29日(月)

8時～20時

※ 天候等の影響で計測期間が変更になる可能性あり

【場 所】 なんば駅前広場

【内 容】 歩行者空間拡大の影響を検証するために、プライバシーに配慮した赤外線センサーであるLiDARセンサーを用いて、歩行者空間における人の通行動線や滞在状況の計測を行う。

## Press Release

### ❖ 道路空間再編(歩行者空間拡大)の社会実験について

交通荷捌きの運用や安全性の検証の社会実験によって広がった道路空間を歩行者空間として、日常の憩いの空間のあり方を検証します。

#### ■実施内容

・歩行者空間の利活用の検証の実施区間において、歩行者通行動線と滞在空間を分け、滞在空間にはテントやベンチなどを設置するほか、夜間はLED照明で周囲を照らすなどして、憩い空間としてのあり方を検証します。

・滞在空間内の植栽を撤去することで、なんば駅前広場の将来形に近い形での一体感、なんさん通りの歩行者空間に向けた連続性の創出を図ります。

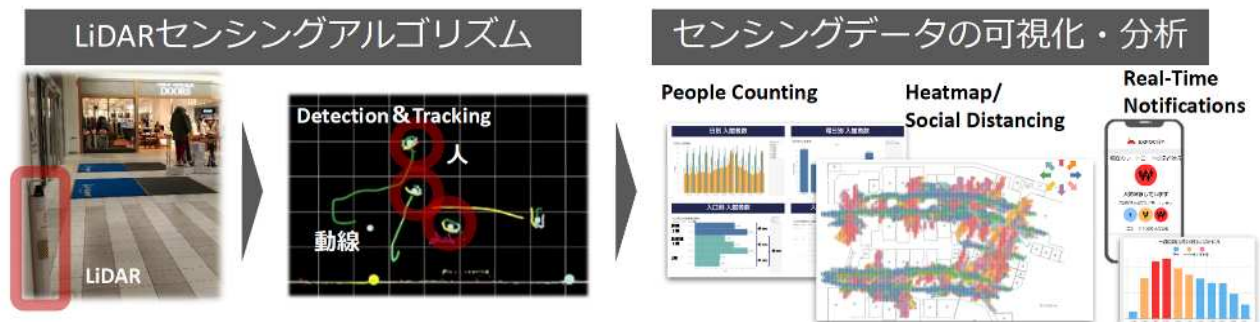
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集客型のイベントなどは実施しません。



実施イメージ(日によって設置場所は異なります)

### ❖ ひとたび®の特徴

ひとたび®とは、大阪大学大学院情報科学研究科の山口教授らが開発した人流計測システムの名称です。赤外線レーザーによる測距技術に基づくLiDARとよばれるセンサーを用いるため、監視カメラなどとは異なり、プライバシーに配慮しながら人の動きを計測し、可視化することができます。今回の社会実験でひとたび®を用いることにより、歩行者空間が拡大したことによる人流の変化を分析・可視化できます。



### ❖ 担当教授

山口弘純(やまぐち・ひろずみ)



大阪大学大学院情報科学研究科情報ネットワーク学専攻教授。モバイルコンピューティングに関する研究に従事。様々なセンサーを用いた人や空間のセンシングとその応用技術を開発し、ひとたび®をはじめとする社会実装を実施中。平成19年情報処理学会長尾真記念特別賞、平成22年情報処理学会創立50周年記念論文賞、平成26・30年情報処理学会論文賞など受賞。平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(研究部門)。